



社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地

TEL. 073-424-5185

FAX. 073-425-6485



ホームページ: <http://www.saiseikai-wakayama.jp/>

# 済生会

わかやま

# NEWS

第18号

発行日: 2010.10

## ～ 理 念 ～

私たちは、地域社会に親しまれ、  
信頼され、患者さんも職員も元氣  
が出る病院をめざします。

## — Information —

### 看護この未知なるもの

看護部長 村松 由美子

看護部長の辞令を頂き、10カ月が過ぎ、済生会本部の看護部長会、近畿ブロック会議、学会などへ参加をさせて頂くことで、済生会の伝統と組織の大きさを感じている今日です。

機能や組織が異なる大学病院から当院にお声をかけて頂き、院長先生はじめ看護部門、医師部門、診療技術部門、事務部門、委託の方々に大変お世話になっています。部門間の壁が低く、本来のチーム医療がされていると思った最初の印象は変わらず、ますますその思いを強くしております。さまざまな部門の方々に「ちょっと教えてください」と何度お願いしたことでしょうか。その都度、丁寧に指導頂きありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。

さて今回「看護とは」についての原稿のご依頼をうけましたが、看護従事者以外の方々もご覧になる「済生会和歌山ニュース」ですので、看護教育課程の中で学ぶ「看護とは」について触れたいと思います。

本題につけた「看護この未知なるもの」は100数年前、ノーベル医学生理学賞を受賞したアレキシスカレル著「人間この未知なるもの」からの引用であり「人間の中にある広大な未知の世界、実際我々は、本当は何も知らない。人間を研究している学者は、さまざまな疑問を抱いているが、まだ答えは見つかっていない。人間には測定できるものより測定できないものの方が重要である」とある。

看護の分野では看護理論「ナイチンゲール」「ヘンダーソン」「オレム」「オーランド」「科学的看護論」「キング」他多数の理論が開発され、看護教育の中で紹介されています。私の学生時代は、ヘンダーソンの全盛時代で、その著「看護の基本となるもの」において呼吸、食事など人間の基本的欲求を含む14項目で患者の全体像を把握しながら、看護実践を行う。ナイチンゲールとヘンダーソンの理論は、私の30数年の臨床経験の中で看護実践、看護管理における拠となりました。学生時代は和歌山赤十字看護学院ということから、ナイチンゲールはとても身近な存在であり、朝礼は、ナイチンゲール誓詞の朗読から始まりました。様々な看護理論は看護を表す理論ではありますが、すべてを表すのは不可能です。



人間の遺伝子がすべて解明された今世紀においてすら、個の総和以上の統合体である人間をすべて理解できたわけではありません。そのような存在である人間の全体を対象とする看護は非常に難しい。

現在、専門、認定看護師制度ができ、医師不足の中、米国のNP(ナース・プラクティション)のような特定看護師(仮称)養成の検討が始まっています。複雑極まりない人間を理解するために専門分野を持つ看護師の存在は、一二分に必要です。しかし、その半面看護の原点である人間の全体像を見るジェネラリスト育成の双方を備えた看護ということを常に心して日々の看護実践に取り組む必要があると思います。

## 腎センターのご紹介

腎センター医長 岡本 昌典

済生会和歌山病院腎センターは、開設以来30年の歴史があり、保存期慢性腎臓病をはじめ、透析導入から維持期、合併症、シャントトラブル等様々な腎不全患者さんに対応すべく、入院・外来透析の治療を行っています。また近隣病院からの合併症治療を目的とした患者さんも多数受け入れており、地域基幹病院として、医大や日赤とともに透析医療の中心的機能を果たしております。現在、当センターでは、常勤医師1名、臨床工学士2名、看護師9名のスタッフで、血液透析、腹膜透析の腎機能代行療法はもちろん、閉塞性動脈硬化症に対するLDL吸着療法、肝不全に対する血漿交換療法やビリルビン吸着療法、重症敗血症に対する持続的血液濾過、エンドトキシン吸着などのアフェレシス療法も行っています。慢性腎臓病(Chronic kidney disease: CKD)対策としての保存期腎外来では、薬物治療だけでなく、食事療法や生活指導にも重点をおいています。近年、透析患者さんの平均年齢は、高齢化しており、また原疾患も糖尿病性腎症から腎不全に移行する患者さんが増加していることから、透析導入時には、既に循環器内科や心臓血管外科で加療されているケースも珍しくありません。そのような患者さんの生命予後やQOLを少しでも改善させるためにも、専門の各科と緊密な連絡を取りながら、適切な検査・治療を積極的に行っていく必要があると思われます。CKD活動の浸透をさまざまな機会を通じてはかり、和歌山市周辺の医療機関や近隣透析施設との連携も密にし、腎不全治療の中核施設としての役割を果たしていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



## マンモグラフィ検診精度管理中央委員会の 検診施設画像認定を取得しました。

放射線科  
主任技師 前田 哲男

近年我が国においても、生活の欧米化に伴い、乳癌の発生確率が高くなって来ています。現在では、女性の生涯において、20人に1人の確率で、罹患すると言われ、また社会全体でも、ピンクリボン運動を始め、乳癌早期発見の意識が高くなっています。当院でもH19年にマンモグラフィ装置が導入され、外科医師による、診察、エコーと共に乳癌に対する検査を行って来ましたが、本年H22年に、マンモグラフィ検診精度管理中央委員会の検診施設画像認定を取得し、これにより、同学会による、認定医師3名、認定撮影技師4名と同様に、公的な第三者による客観的な評価を頂きました。この事で我々も、自信を持ちマンモグラフィ検査を行う事が出来、また同時に、地域の乳癌医療の一端として、これからも精度の高い情報を提供出来る様、一層取り組んで行きたいと思ひます。



## 日本内科学会教育関連病院認定のご報告

済生会和歌山病院では和歌山市における救急医療や専門医療を担うべく日々努力しておりますが、昨今の病院勤務医不足により様々な制約が生じつつあります。これを打開するためには新たな医師を育てる必要があります、当院でも和歌山県立医大よりの研修医を毎年受け入れておりますが、この度「日本内科学会教員関連病院」の認定を平成22年9月1日に受けましたことをご報告いたします。

日本内科学会では一定レベル以上の実力をもち信頼される内科医を認定内科医として認定し、さらに高い水準の内科診療能力を備えた認定内科医を総合内科専門医として認定しています。そのための臨床研修には、一定の規模と教育環境を有する施設が必要であり、この教育環境を備えている施設を認定医制度教育病院および教育関連病院として認定しています。その要件は以下のようになっています。

1. 単独型、管理型、もしくは協力型臨床研修病院の資格を満たす病院
2. 内科病床数が50床以上あること
3. 内科剖検体数が1体以上あること
4. CPCが年1症例以上定期的に開催されていること
5. 内科常勤医が5名以上いること
6. 内科指導医が3名で、全員が総合内科専門医であることが望ましい
7. 本会年次講演会、または地方会での発表が年1演題以上あること

内科指導医としては江川(糖尿病代謝内科)、大鹿(循環器内科)、川口(消化器内科)、文野(消化器内科)を登録しております。今後、当院での経験症例を認定内科医・総合内科専門医の申請に提出することができるようになり、研修医が認定医を取得しやすくなりますので、どんどん若い力が入ってくるものと期待しています。

糖尿病代謝内科 部長 江川公浩



### 西川内科診療所 西川 寛紀 先生

私は近畿大学医学部を1990年に卒業し、同大学第3内科(血液・腎・膠原病)、和歌山県立医大第1内科(糖尿病・内分泌・血液)、宇都宮病院を経て2000年から西川内科診療所の副院長として勤務し、2009年から同院を継承いたしました。

私の診療所はブラクリ丁に面したところにあります。昔は人であふれかえっていたブラクリ丁も今やシャッター街と化しつつある状況です。時代の波と言ってしまうばそれまででしょうが、そんな中、フォルテフジマをはじめ、商店街の方々も昔の活気を呼び戻そうと創意工夫、日々努力されておられます。その前向きな姿勢、パワー、勇気に励まされることも多く、私もその一員として地域に根差した医療を心掛けていきたいと考えております。

済生会病院の地域連携室、ドクター、スタッフの皆様方には大変お世話になっております。外来予約、検査予約はもとより急変した患者さんの予約外・時間外の紹介でもスムーズに受けていただき、大変感謝しております。

患者さんへの丁寧な説明、手厚いfollowで、患者さんのみならず御家族も感謝されております。退院された患者さんに“先生よりも、ずっとやさしかったで。”と満面の笑みでよく言われます。“そりゃ〜そうさ。みなさん、私と違って優しいもの。”と苦笑いしつつも胸を張って答えております。

今後とも病診連携をさらに深めて地域に密着した医療をめざしたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。



# 済生会和歌山病院外来診療予定表

(平成22年10月1日現在)

区分	月	火	水	木	金	
内科 糖尿病・代謝内科 消化器内科 循環器内科	2 診	山原 邦浩	—	山原 邦浩	—	川口 雅功
	3 診	文野 真樹	—	川口 雅功		文野 真樹
	4 診	巽 邦浩	江川 公浩	荒古 道子	江川 公浩	荒古 道子
	5 診	片岩 秀朗	大鹿 裕之	片岩 秀朗	松本 啓希	大鹿 裕之
放射線科	—	—	野村 尚三	—	—	
脳神経外科	7 診	仲 寛	中川 真里	山家 弘雄	仲 寛	林 靖二
	8 診	山家 弘雄	—	—	中川 真里	—
外科・心臓血管外科	8 診	—	高垣 有作	戸口 佳代	—	岩橋 正尋
	9 診	重里 政信		重里 政信	岩橋 正尋	中村 恭子
	10 診	戸口 佳代	—		—	—
整形外科	13 診	遠藤 徹	船岡 信彦	新患診	松崎 交作	船岡 信彦
	14 診	平 一裕	納田 和博		納田 和博	遠藤 徹
	30 診	—	—		平 一裕	—
リハビリテーション科	6 階	担当医	西田 秀樹	西田 秀樹	西田 秀樹	担当医
耳鼻咽喉科	15 診	—	—	医大応援医師	—	—
腎センター	2 階	—	—	—	岡本 昌典	—
眼科	2 階	医大応援医師	医大応援医師	—	医大応援医師	医大応援医師
皮膚科	2 階	上中智香子	—	—	山本 有紀	—
泌尿器科	2 階	—	—	佐々木有見子	—	児玉 芳孝

※内科 (糖尿病・代謝)江川 公浩/荒古 道子/巽 邦浩  
(肝/消化器)川口 雅功/文野 真樹/山原 邦浩  
(循環器)大鹿 裕之/片岩 秀朗/松本 啓希

\*土曜日は休診です。

\*腎センターは木曜日午後 保存期外来を実施。

\*消化器内科の外来診察は月・水・金です。

\*月曜日午後から予約制で禁煙外来を行っています。

【受付時間】 午前(全科) 8時45分～11時00分  
(但し、予約患者さまは除く)

## 診療案内

診察日：月～金曜日

受付時間：午前8時45分～午前11時(但し、予約患者様はこの限りにあらず)

休診日：土・日・祝祭日(年末年始)

面会時間：月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



## 交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

## 地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187